

報道資料

発表年月日 令和8年2月10日(火)
担当部署名 福祉保険部医療政策局疾病対策課
担当者 市川・小池
連絡先 0742-27-8612 (内線 62312)

麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起

令和8年2月9日(月)、郡山保健所管内の医療機関から麻しんの発生届が提出され、県保健研究センターで遺伝子検査を実施したところ、麻しん陽性であることが分かりました。

当該患者の疫学調査を行った結果、感染の可能性がある期間に、**不特定多数の方が利用する施設等を利用していることが判明しました**ので、広く注意喚起のため報道発表します。

報道に際しては、患者のプライバシーの保護及び施設の風評被害にならないよう、十分配慮していただきますようお願いします。

【不特定多数の方と接触した可能性がある日時及び施設等】

日付	滞在時間	施設
1/28 (水)	12時半～21時頃	無印良品 イオンモール権原 (権原市)
1/29 (木)	11時半～12時半頃	岡寺 (龍蓋寺) (明日香村)
	13時半～14時半頃	四川料理 金峰閣 (広陵町)
1/30 (金)	8時半～17時頃	無印良品 イオンモール権原 (権原市)
	15時～16時頃	バーガーキング イオンモール権原店 (権原市)
1/31 (土)	12時半～21時頃	無印良品 イオンモール権原 (権原市)
2/2 (月)	9時頃～5分程度	ふくしまクリニック (天理市)
	11時～12時頃	
2/4 (水)	9時～10時頃	ふくしまクリニック (天理市)

※当該患者は自家用車を利用しておらず、公共交通機関の利用はありません。

※麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以内とされています。現時点において麻しん患者が利用した施設等を利用されても感染の心配はありません。施設への問い合わせはご遠慮ください。

※特定されている接触者については、保健所にて健康観察を実施しています。

【県民の皆様へ】

麻しん患者と接触した場合は、潜伏期間（病原微生物が身体の中に入り、症状が出るまでの期間）を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。

上記において施設等を利用した方で、2月25日(水)までに、発熱、風邪症状、発疹の症状が出現した場合は、医療機関の受診が必要です。

麻しんは感染力がきわめて強い感染症で、典型的な症状として、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2~3日熱が続いたあと、その後一旦熱は下がりますが、再び39度以上の高熱と発疹が出現します。

受診する前に最寄りの保健所に連絡するか、必ず医療機関に事前に電話連絡のうえ、「麻しんかもしれない」ことを伝えたうえで、指示に従ってください。

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、マスクのみでは予防することができません。予防接種が最も有効な方法です。

2000年以前の生まれの方は、現在の定期接種(2回)の対象ではなかったため、免疫が不十分な可能性があるため、特に注意が必要です。過去にり患したかどうか、ワクチンを接種したかどうかは母子手帳等でご確認ください。

【麻疹の発生状況】

年	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8
奈良県	0	0	2	2	1(今回)
全国	6	45	122	265	23※

※全国値は、R8年2月4日(水)現在

【参考】

●患者の概要

30歳代、女性

主な症状：発熱、結膜充血、眼脂、コプリック斑※、発疹

現在の状況：入院中

予防接種歴：無し

海外渡航歴：無し

※頬粘膜（口のなかの頬の裏側）にやや隆起した1mm程度の小さな白色の小さな斑点

●発症から陽性確定までの経過等

令和8年1月29日(木) 発症（発熱、関節痛）

2月 2日(月) クリニック受診

4日(水) クリニック受診後、医療機関に入院

9日(月) 麻しん発生届（臨床診断例）受理

県保健研究センターにおける遺伝子検査の結果、麻しん陽性確定